

すとおりは、自主製品の製造・販売やリサイクルセンターを運用する就労継続支援B型と、依存症からの回復プログラムなどを学ぶ生活訓練からなる多機能型の依存症回復施設です。アルコールや薬物、ギャンブルなどをやめる意志がある仲間の居場所となっています。今号では「コロナの時期を過ぎて思うこと」をテーマにメンバーやスタッフが感じたことをご報告させていただきます。

1 【コロナの時期を過ぎて思うこと】

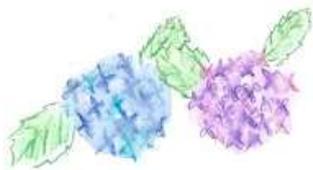
Yさん

コロナウィルスの流行により、自粛生活が始まりました。もしコロナウィルスの流行がなかったら、僕は今頃何をしているだろうか。今の僕は、アディクションリハビリテーションセンターすとおりの数少ないAAのミーティングへ行ったりしている。外出はほとんどしていないが、それでもいいと思えるようになった。今、自宅で声を出して笑うことで、自分の中に溜まっているものが解放され、少し楽になる感覚がある。みんなストレスを抱えながらすご頑張っているのだから、悪く言ったり、不満を言ったり、イライラするよりは、少しでもほめあって、みんなで頑張ろうという気持ちを作っていくことが、社会としてはすごく大事だと感じています。コロナウィルスの流行で僕の生活は大きく変わったと思う。でもこの自粛生活も早くコロナウィルスが収束するのに必要なことだと思う。だから、今は三密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、外出したら、手洗いやうがいや顔を洗ったりもして、感染対策をし、コロナウィルスが収まり、早く自由に外出できるように僕もできる限りのことをしたい。



Sさん

三度目の緊縮事態宣言中です。コロナ禍において、季節は五月を迎えようとしています。この状況がかれこれ一年半続いていきます。去年は、毎年楽しみにしていた宿泊研修は中止、ソフトバレーボールの練習も会場が使えないので中止。毎年行われている大会も開催できませんでした。ヨガも会場が取れないことは勿論、すとおりでやるにしても部屋が密になるため講師の先生をお願いできずに、中止せざるを得ない状況です。特に去年の今の時期は、リサイクルショップも閉めており、特別なプログラム。ミーティングやウォーキング、ダンスやクイズなど、スタッフの考えてくれたものを行って行っていました。現在は段々と普段の状況に戻りつつあります。コロナの時期を通して思うことは、当たり前だったことが、こんなにも一変するものかということだと思います。何よりも、みんな元気です。これからもコロナと向き合って生活していくかと思いますが、コロナに負けず回復の一步を踏み出せたら良いなと思っています。



Yさん

自分がすとおりの生活訓練に通い始めたころにコロナが問題視されました。早や1年半近くになります。外に出るのが怖くなりました。このコロナ禍の中、体調を崩し内科で約1か月の入院でお休みをしましたが、入院中もすとおりと連絡を取りました。退院して久々の通所でドキドキでした。そんな自分をスタッフやみんなが「おかえり」と笑顔で迎えてくれました。その姿は自分の脳裏に焼きついています。スタッフや仲間存在に感謝しています。コロナ禍で引きこもり気味になる世の中ですが、私はすとおりのおかげで外に出る機会を頂いています。世の中はリモート等で外に出るなど言っていますが…。今の私にとって大切なのは、本当に申し訳ないですが、少しでも外に出て外の空気を吸う事、規則正しく生活する事、一日一日を楽しく過ごす事なんです。マスク、手洗い、除菌スプレーは必須ですが、今現在、上手く過ごしていると思っています。すとおりは勿論、このコロナを乗り越えて、皆でレク活動やヨガ等を楽しむ活動ができればいいなと願っています。

スタッフ Oさん

振り返ってみると、2020年新型コロナウイルスが中国武漢から始まったと思ったら、アツという間に全世界に広がり、パンデミックになってしまいました。この約1年半は誰も予想しなかった事態が進行中です。それでもクルーズ船ダイヤモンド・プリンズ号での集団感染・春節休みでのたくさんの中国観光客の来日あたりまでは、情報としては知っていても、正直他人事でした。身近で切実に感じるようになったきっかけは、タレントの志村けんさんの死でした。本当に衝撃を受けました。また、マスクが不足して、お店で入手困難になってしまったのには、閉口しました。石油ショックのころのトイレトペーパー騒ぎを思い出したり、マスクが中国からの輸入にものすごく依存している現実を改めて知りました。その後、安倍首相の緊急事態宣言が出て、学校が休校になったり、すとおりの休業になり、コロナの影響をものに受けるようになりました。毎日、テレビ等で感染者の増加・減少が報道され、よくわからないまま、恐怖心だけは増大していきました。



「何かの時の気分と似ているな、軽いうつ的な気分、そうだ、2011年3月11日の大震災後のテレビで、毎日津波等の甚大な被害の画面を見続けているうちに陥った気分とそっくりだ」と感じました。それ以後、コロナ鬱にならないように、テレビ等の情報は必要以上見ないこと。自分のできる範囲の予防はしっかりやっていくが、それ以上のことはあまり考えないようにすること。おかげで、マスクを常時かけるようになりましたし、自分の人生史上最多の手洗い・消毒も習慣化しました。その他は、免疫力をアップさせる食事等に気を付けてはいますが、絶対かからないということは無理なので、「かかったらかかった時だ。」と覚悟しています。「その時に最善を尽くせばいいかな。」と思っています。早く平常に戻って、みんなと楽しく回復を目指して過ごしていきたいということだけを願っています。

2【世田谷区役所中庭販売会の感想】

Yさん

私は二年位前にすとおりに入所して、一年に数回区役所中庭販売会に参加しています。入所した目的が、断酒して健康とか就労とかもありますが、世間の人々との交流が第一優先の自分にとっては、この販売会が最も望むプログラムなのではないかと思います。しかし、昨年の2月からコロナの影響で、メンバーが参加できる機会が少なくなってしまいました。ホームステイへの生活の変化で、すとおりの自主製品がコロナ前よりも売れている印象を受けています。

Hさん

前日の雨も上がり、販売会日和となりました。店を開くとお客様がいらして、すご腕くんを買われていきました。「他の洗剤よりもとてもよく汚れが落ちて、手にやさしい石鹼で助かります」と言って下さりました。石鹼づくりに関わってなくても、お客様からお褒めの言葉を言われると、とてもうれしいです。また、このような販売会があったら、参加してすご腕くんを販売したいと思っております。



3【石鹼づくり担当のうれしい出来事】

自主製品の石鹼を作りながら、うれしい出来事が二つありました。

一つは、作り手に新たなメンバーが一人加わりました。彼は、生活訓練に規則正しく通い体力をつけて、2年間の生活訓練のプログラムを終了して、就労継続支援B型にステップアップしました。明るい笑顔の彼は、石鹼づくりに積極的に取り組みながら、わからないことをわからないままにせず、質問します。N先輩は、おおらかに受け止めて答えています。また、リーダーのIさんはその二人を束ねながら和やかに作業を進めています。

もう一つは、石鹼のことをもっとたくさんの人に知ってもらうために、販路拡大の方法はないか、みんなで検討して「肉球型の石鹼」を作成して、バザー等の販売会にもって行って見ました。そしたら、思いのほかの大盛況。多くの方が可愛いといって手に取り、買って下さいました。「お友達のプレゼントにもいいわね」と、言って下さる方もいました。それをついにリサイクルセンター内でも「万能石鹼ねこ足くん」という名前で販売することになりました。ぜひ、ご来店の際には、一度手に取ってみてください。2個セットで165円です。



4 2020年度貸借対照表

2020年度 貸借対照表
2021年3月31日現在

東京都世田谷区桜新町1-8-6
特定非営利活動法人 STORY
理事長 有信 雅子

(単位：円)

科 目		金 額
資産の部	流動資産	32,705,320
	固定資産	46,630,762
	資産合計	79,336,082
負債及び正味財産の部	流動負債	4,075,323
	固定負債	1,732,331
	負債合計	5,807,654
	前期繰越正味財産	73,653,978
	当期正味財産増減額	-125,550
	正味財産合計	73,528,428
	負債及び正味財産合計	79,336,082

5 メンバー状況(令和3年5月25日現在)

- ・生活訓練 5人 ・就労継続支援B型 12人
- <男女構成>
- ・男性 14人 ・女性 3人
- <年代>
- ・30代 1人 ・40代 5人 ・50代 8人 ・60代以上 3人
- <アディクション>
- ・アルコール 14人 ・薬物 4人 ・ギャンブル 2人 (重複あり)

- ・就労した者 1人 (令和3年4月1日より)

6 編集後記

コロナの蔓延状態が続いている中、新年度が始まりました。

前年度はコロナの影響で、いろいろな訓練や行事が制限されました。新しい年度が始まり、できることから始めています。リサイクルセンターの開店時間を10:00~16:00までとしました。ビジネスミーティング、パースディ、講師を招いてのヨガも再開しました。宿泊研修も、企画をたて準備を整えて、いざ実行できる時に備えています。

このような状況の中、不安や見えないストレスを感じながらも、みんな元気に通所しています。落ち着いて穏やかに一時でも何かに集中し、仲間と過ごす時間を提供していけるように、感染対策を徹底して行いながら一年を過ごしていきたいと思います。今年度もよろしく願いいたします。

7 会員募集のお知らせ

特定非営利活動法人STORYの趣旨にご賛同、ご支援頂ける会員の方を募集しています。

- ①正会員：当法人の目的に賛同して入会される方および団体
入会金 5,000円
年会費 3,000円

- ②賛助会員：当法人の事業を賛助するために入会される方および団体
入会金 3,000円
年会費 1,000円

郵便振替口座

- 口座番号 00100-3-591769
口座名義 特定非営利活動法人STORY